

中田南地区大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>泉区中田南地区約97haにおける地区の浸水に対する安全度を向上させるため、5年確率降雨（1時間当たり約50mmの降雨）に対する整備を行います。</p> <p>泉区中田南地区（約97ha）においては、既存水路で雨水排水を行っています。横浜市では自然排水区域における雨水整備目標水準を1時間あたり約50mmに対応した整備としていますが、当該地区の既存水路は排水能力が不足しており、平成26年10月の台風18号や平成31年9月の大雨により浸水被害が発生しています。</p> <p>加えて、地域内を流れる既存水路は、全体の約35%の区間で排水能力が不足しており雨水整備目標水準の降雨に対して20～70%程度の排水能力であることから、約30軒を超える家屋が浸水する恐れがあります。そのため、浸水時の生命の保護及び都市機能の確保、個人財産の保護の観点から、早急な浸水対策を計画的に実施する必要性が高い地区である。</p> <p>よって、既存幹線の能力不足解消に向けて、計画的・集中的に雨水幹線の整備を推進するため、大規模雨水処理施設整備事業を適用する。</p> <p>なお当該事業は、「社会資本整備総合交付金要綱」通常の下水道事業に該当する。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：約 50.0mm/h （5年確率降雨） ・目標とする理由：ハード整備による整備水準のため ・ハード整備による整備水準の目標：約50.0mm/h（5年確率降雨） <p>②目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 生命の保護の観点：床上浸水の防止 ii) 都市機能の確保の観点：交通の支障となる道路冠水の防止 iii) 個人財産の保護の観点：家屋浸水の防止 iv) その他：特になし <p>② ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i) ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備により約 50.0mm/h（5年確率）の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 ii) ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備で対象とする降雨量を上回る降雨において、下水道管理者による情報提供、地域住民等による土のう設置など、それぞれの主体が対策を実施することにより、被害を出来るだけ小さくする。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> 有 (平成 26 年 3 月策定済み) 策定予定 (令和〇年〇月末策定予定) 			
主な事業内容	公 助	ハード対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> 雨水管渠の整備 延長 1034.1m 取水管きよの整備 延長 3.6m
			下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
		ソフト対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> 管路清掃・内水ハザードマップの提供 インターネット等による雨量情報の提供
			下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> インターネット等による雨量、河川水位の情報提供 (総務局緊急対策課、下水道河川局河川企画課) 電子メールによる河川水位上昇時や降雨の警報・注意報発表時の情報配信 (総務局緊急対策課) 土のう設置に対する支援 (泉土木事務所)
	自 助	ハード対策		<ul style="list-style-type: none"> 土のう配備
		ソフト対策		<ul style="list-style-type: none"> 道路雨水ますの清掃 ハザードマップによる自助・共助促進

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

年度計画 (百万円)

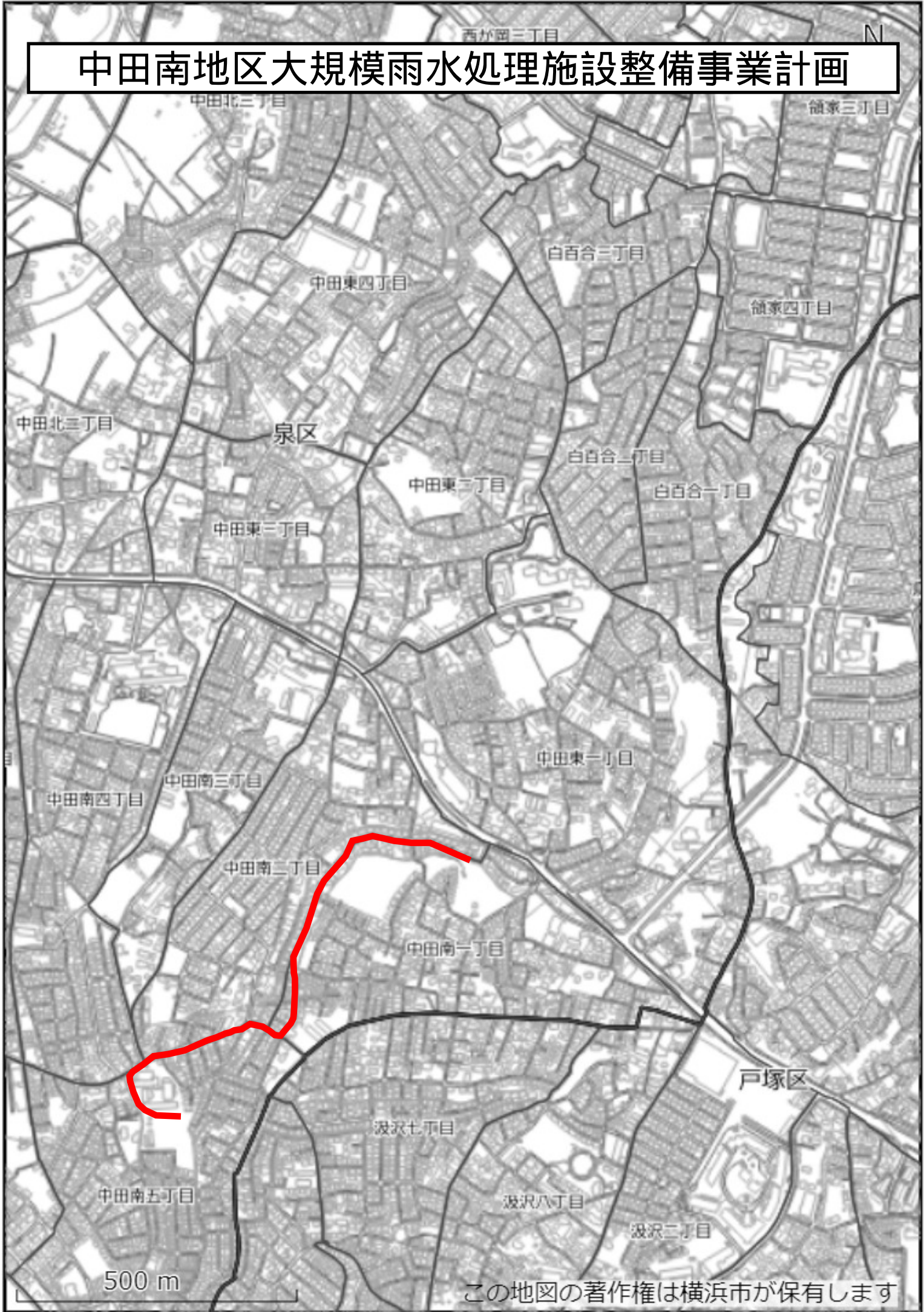
名称	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
雨水管きよ	500	500	500	400	120	2020
取水管きよ	0	0	0	0	10	10
計	500	500	500	400	130	2030

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額 (事業費) を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p data-bbox="383 247 607 275"><事業評価の内容></p> <p data-bbox="383 289 922 317">浸水被害の軽減便益：1900 百万円が削減される。</p> <p data-bbox="383 331 521 359">B/C：1.1</p> <p data-bbox="383 373 670 401">経済的内部収益率：4.7%</p>
放流先河川との調整状況	<p data-bbox="383 459 1382 527">本事業は、既存幹線の排水能力不足を補う雨水幹線整備であり、放流先河川の許容放流量との整合はとれている。</p>
その他	-

中田南地区大規模雨水処理施設整備事業計画



500 m

この地図の著作権は横浜市が保有します